

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【公表番号】特表2018-500094(P2018-500094A)  
 【公表日】平成30年1月11日(2018.1.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2018-001  
 【出願番号】特願2017-532036(P2017-532036)  
 【国際特許分類】

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F	13/02	3 8 0
A 6 1 F	13/02	3 1 0 D
A 6 1 F	13/02	3 1 0 J
A 6 1 F	13/02	3 4 5
A 6 1 F	13/02	3 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月24日(2018.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

使用時に皮膚に対向するように構成される第 1 主面と、第 1 端と、第 2 端と、第 1 端と第 2 端との間に位置する中間部とを備える粘弾性パッキングであって、室温にて、

30 分間にわたって伸長率 50 % にひずみを与えられた後、10 秒後にその変形の 40 % 以下、及び

30 分間にわたって伸長率 50 % にひずみを与えられた後、48 時間後にその変形の少なくとも 70 % が復元する粘弾性パッキングと、

前記第 1 端及び前記第 2 端に隣接する前記粘弾性パッキングの前記第 1 主面上の皮膚接触接着剤と、を備え、前記中間部の前記第 1 主面の大半が前記皮膚接触接着剤を有さない、創傷閉鎖ドレッシング。

【請求項 2】

前記粘弾性パッキングが予め伸ばされた形態にある、請求項 1 に記載の創傷閉鎖ドレッシング。

【請求項 3】

前記粘弾性パッキングの前記中間部のみが、予め伸ばされた形態にある、請求項 2 に記載の創傷閉鎖ドレッシング。

【請求項 4】

前記粘弾性パッキングの前記中間部の前記第 1 主面に連結される吸収層を更に備える、請求項 1 ~ 3 のうちのいずれか一項に記載の創傷閉鎖ドレッシング。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の創傷閉鎖ドレッシングに係る第 1 の創傷閉鎖ドレッシングであって、前記第 1 の創傷閉鎖ドレッシングの前記粘弾性パッキングが第 1 伸長率で予め伸ばされている、第 1 の創傷閉鎖ドレッシングと、

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の前記創傷閉鎖ドレッシングに係る第 2 の創傷閉鎖ドレッシングであって、前記第 2 の創傷閉鎖ドレッシングの前記粘弾性パッキングが第 1

伸長率よりも低い第 2 伸長率で予め伸ばされている、第 2 の創傷閉鎖ドレッシングと、を備える、創傷閉鎖ドレッシングキット。

【請求項 6】

前記粘弾性バックキングが予め伸ばされた形態にある、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の前記創傷閉鎖ドレッシングと、

支持組立体と、を備える創傷閉鎖ドレッシングシステムであって、

前記創傷閉鎖ドレッシングは、前記粘弾性バックキングの前記予め伸ばされた形態が、前記創傷閉鎖ドレッシングが前記支持体から取り外されるまで維持されるように、前記支持体に前記粘弾性バックキングが予め伸ばされた形態で連結される、創傷閉鎖ドレッシングシステム。